

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行います。
受講希望者は、下記の連絡先までお問い合わせください。

記

講師: 奥村歯科医院 院長
奥村 秀樹 先生

演題: 旧石器時代の脳で根管治療を制圧することができるか?—認知のひずみとCBCT

日時: 令和6年3月14日(木)17:00~20:00

場所: 保存矯正示説室 (歯学部校舎棟5F)

抄録: 直感的な人の認知機構(ヒューリスティクス: 近道思考)は約2万年続いた旧石器時代にほぼかたちづくられたといわれています。進化の過程で得られたこのようなヒューリスティクスは思考の負荷を軽くし、不確実な世界で意思決定するためには大変有効です。日々の臨床もこのような経験に基づく直感的な認知機構がわれわれの意思決定を支えますが、とりわけ見えない世界を探る根管治療ではその裏がえしともいえる視覚的・認知的バイアスに時折惑わされるのです。私はこれこそが技術的なことだけでない根管治療の難しさのもう一つの側面であり、CBCTがこの視覚や認知のひずみの解消のための一翼を担うと考えています。今回はこのCBCTを利用した私の臨床を、デバイスなどのトピックスを交えて症例をもとにお話ししたいと思っています。

連絡先: 川島 伸之 (歯髓生物学分野 内線 5494) e-mail: kawashima.n.endo@tmd.ac.jp